

(メッセ海外通信 2012年1→3月号掲載記事)

～釜山観光は「コリアパス釜山観光カード」で！～

下関市総合政策部国際課  
(釜山広域市派遣職員)  
植田 禎俊

釜山での観光は、釜山広域市と韓国観光公社が協力して発行を推進している「コリアパス釜山観光カード」がお徳で便利です。「カード1枚で楽しい釜山観光を」というキャッチフレーズにあるとおり「観光カード」を交通カードとして使い、宿泊料や観光地の入場料を支払うことはもちろん、買い物時に割引も受けることができますので、観光客にとってはよりスマートな観光が可能となります。このカードは、カード加盟店でクレジットカードを使うように使用できます。カードの購入は金海空港と国際旅客ターミナル、釜山駅、釜山市内ロッテマート、セブンイレブンなどで観光客が簡単に購入可能で、残金は返金してもらうことができます。釜山シティーツアーバスをはじめとする釜山市内の75社755事業所が加盟店に登録しており、5%から最大で30%の割引を受けることができます。このカードは、釜山地域だけでなく全国の加盟店約100社約7千店舗でも、割引を受けたり支払いをしたりすることができますので釜山にお越しの際はご利用をお勧めします。



【カードの種類 5万ウォン・10万ウォン・30万ウォン・50万ウォン】

■釜山国際映画祭専門館『映画の殿堂 Busan Cinema Center』完成！

釜山広域市海雲台区センタムシティに釜山国際映画祭（B I F F）専用映画館として「映画の殿堂（釜山シネマセンター）」がオープンしました。地上9階地下1階、総面積は54,335㎡で、「映画の都市・釜山」の新しいランドマークとなります。設計は有名なオーストラリアの設計会社が行い、長さ74m、幅62mの世界最長の屋根が特徴で、今後はこのことをギネスブックへ登録の申請をする予定とのこと。また、震度7クラスの強い地震や最大65m/秒の風速、1m以上の積雪にも耐えることができる構造で、既に国際的にも注目を集めているとのこと。世界的な国際映画祭として名声を馳せている釜山国際映画祭では、昨年までは上映館数が十分でないという問題に直面していましたが、「映画の殿堂」の完成で、鑑賞されるお客様に十分な座席を確保し鑑賞することができるようになりました。

